

ご存知ですか　ものづくりの苗処（なえどころ）

企業が根付き育つまち **くみやま**

京都　久御山町（くみやまちょう）

ごあいさつ



久御山町長
信貴　康孝

本町では、昭和41年の国道1号開通を契機に道路交通網が発達し、計画的な土地利用と住みよい生活環境の形成を目指して、住工混在がないまちづくりを展開してまいりました。府内有数の工業集積と立地優位性を有し、企業にとって操業のしやすい環境が整っているため、多くの中小企業が進出し、「育つ環境」が整っています。

また、農業においても600年以上の歴史を誇る育苗は、今では「淀苗」というブランド名で、広く全国に出荷されています。それだけではなく、近年は九条ねぎなどの軟弱野菜を中心に京野菜の主要産地としても認知されるようになってまいりました。

本町のこうした産業の特色から、企業が「育つ環境」という土壌が整っているという考えのもと、「苗処(なえどころ)」というコンセプトが打ち出されました。

その土壌を活かし、町内の農業者、商工業者ともに長期的な視点を持ち、持続して操業ができるようにするためには、課題解決のための産業施策を実施するとともに、住民、事業者、農家、大学、行政等が積極的に交流し、新たな方向性にチャレンジすることで新しい価値を創造するとともに、目先の利益だけにとらわれず、地域課題や社会課題の解決に挑戦する事業所を支援していく必要があります。そのためには多様な価値観をもった人材を雇用し、育てていく必要があります。町は積極的な支援とともに、これらの取組を発信することで、住民、事業者、農家、大学、行政等とともに成長していく姿勢が重要です。この「苗処」で企業がさらに成長できるよう、社会経済情勢の変化に的確に対応するとともに、これまでの産業活動を維持し、またさらなる産業基盤の発展を目指すためには、住民、事業者、農家、大学、行政等が一体となり、時代に合わせた施策を展開しなければなりません。

淀苗は久御山町で育てられたものが全国の農業者の手元に行き渡ります。久御山町という「土壌」で成長した企業という「苗」の事業が、全国や世界に飛躍していけるよう、「ものづくりの苗処」を広く展開してまいります。

ごあいさつ



龍谷大学政策学部　教授
(久御山町産業振興会議座長)
中森　孝文

ものづくりの企業をはじめ、多くの企業は技術が強みだと答えますが、実は、技術を生み出す人の育成方法や、人がチャレンジしやすい職場環境こそが、企業の強みを生み出す原因となっています。そのためには、長い目でみた人材教育や、失敗を許す企業風土といった強みを生む根幹を見つめ直す必要があります。

そして、強みを活かして新しい事業を創造するには社会課題に着目することが大切であり、社会課題の解決策の検討を通じて新たな価値を創造することが重要です。このように社会課題の解決と経済的価値の創出を両立する取組は「ソーシャル・イノベーション」と呼ばれています。ソーシャル・イノベーションへの挑戦は、新たな事業や市場を生み出すだけでなく、地域から信頼される企業となり、持続的な発展にもつながります。社会課題に着目しながら強みを活かすことは簡単ではありませんが、これまでの固定観念を払拭し、自社が対象にしてこなかった社会課題を取り上げ、自社の強みを活かしてどのような解決が考えられるのかについて、幅広く考えていかなければ生き残っていけない時代がきているのです。

第3期産業振興計画の策定に際して最も大切にしたことは、「ものづくりの苗処」としての久御山町の地の利を活かし発展できる企業は、社会で必要とされる姿を絶えず追求し、それに向けて準備をしている企業である、ということでした。

そのためには旧来の産業の垣根を越えた多様な視点からのアプローチが望まれますが、そこには利他の心が求められます。それこそが誰もが判断の拠り所とできる理念なのです。

力の強いものだけが生き残るのではなく、社会から必要とされるものが生き続けます。経済合理主義的な発想により、環境や社会だけでなく社員の幸せを犠牲にしてでも自己の利益を追求する利己主義的な企業運営では、短期的には利益は得られても、長期的に見ると継続できません。

地域住民や企業が、地域の未来のために利他の心を持って、自身(自社)が有する「種や苗」(アイデアやひらめき)を掛け合わせ、未来の社会が求める価値へと育て、新たなソーシャル・イノベーションを生み出してくださることを願っております。

久御山町第3期産業振興計画について

久御山町第3期産業振興計画は、産業活動を維持し、住民、事業者、農家、大学、行政等が連携を保ちながら産業の活性化及び産業基盤の発展を目指すために策定しました。

『5つの「カイ」で進めるものづくりの苗処の成長』をキーワードに、5つの柱を軸に施策を展開します。



❶産業基盤の改(カイ)善

産業基盤として適正な土地利用の維持、産業用地へ魅力のある企業の誘致、交通の利便性の確保など、経済活動を支えるためのインフラや技術基盤を強化するとともに、事業者の経営力の向上を図り、農業と商工業の二刀流の産業基盤の改善を図ります。

❷情報発信の改(カイ)新

既存の情報伝達方法を見直し、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とHP(ホームページ)との相乗効果を引き出すとともに、展示会や販売会によるパフォーマンスを効果的に組み合わせ、求められる最新の情報をより迅速に伝える伝達方法に改新します。

❸連携・交流の改(カイ)革

事業者、農業者、大学等学術機関、金融機関、行政など様々な主体間の連携を促し、交流を充実させるとともに、大学研究機関等との連携をより深め、新たな価値創出や新商品開発や販売力の向上につなげる新たな取組を、産学金官連携を強化することで、改革します。

❹人材・後継者育成の改(カイ)良

人材、後継者の育成は組織の持続的な経営と成長に必要不可欠であることから、現状の分析や育成計画の策定、実勢を踏まえた評価と改善に取組み、外国人、女性、若者、シニア層など多様な働き手が生き生きと働きがいのある職場環境に改良します。

❺創業支援・事業承継の開(カイ)花

新たな経済活動の担い手となる創業者の事業が成功し、花を開かせるために必要な支援を充実させます。特に親族や社内に後継者がいない場合に、M&A等の手法を用いて事業を第三者に引き継ぐ仕組みづくりに取組みます。

久御山町という土壌

久御山町は、人口15,005人（令和8年6月1日現在）、総面積13.86㎢の小さな町です。京都市中心部から南へ約15km、山城盆地の南西部に位置し、北は京都市、東は宇治市、南は城陽市、南西は八幡市に隣接しています。

本町には鉄道駅はないものの、国道1号がまちの中央部を南北に縦貫し、東部を国道24号が、さらに京滋バイパスや第二京阪道路、京都第二外環状道路等の広域幹線道路網が発達し、大阪や奈良、滋賀方面も含めた道路交通の要衝の位置にあります。

これまで、農業中心のまちとして発展してきましたが、昭和41年の国道1号の開通を契機に工場の進出が進み、第二京阪道路や京滋バイパスなどが開通したことによる道路交通網の発達により、町の中央部に工業地域が形成され、農業と工業が調和しながら**「ものづくりの二刀流」**として発展してきました。

また、幹線道路沿いの優れた交通アクセスを活かした大型ショッピングモールが町の商業を支えており、農・商・工のバランスが取れた町づくりが特徴です。



久御山ジャンクション

「踊る大捜査線 THE MOVIE 2 レインボーブリッジを封鎖せよ!」の撮影もここで行われました。



広がる田園風景

中央部を走る国道1号線の西側には田園風景。
東側には製造業を中心とした企業が集積しています。

ものづくりの二刀流　くみやま

農業と工業が調和したまち

ねぎ	作付面積	府内1位
ほうれんそう	作付面積	府内1位
キャベツ	作付面積	府内2位

（令和2年農林業センサスより）

金属製品製造業	府内1位
汎用機械器具製造業	府内1位
業務用機械器具製造業	府内1位
生産用機械器具製造業	府内1位
プラスチック製品製造業	府内2位
電子機械器具製造業	府内2位
電子部品・デバイス・電子回路製造業	府内3位

府内26市町村の事業所数ランキング（令和3年経済センサスより）

※京都市除く



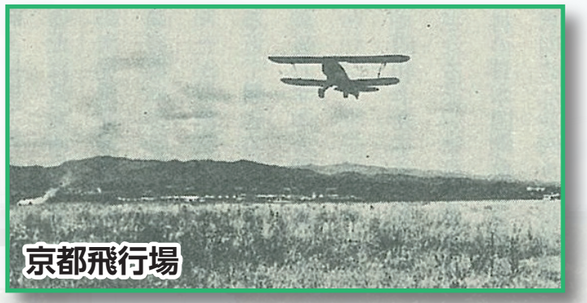
日本遺産「流れ橋と両岸上津屋佐山浜台の「浜茶」」

▲木津川の両岸を時代劇映画のロケ地として知られる長大な木製の「流れ橋」がつないでいます。橋のたもとの砂地で肥大な河川敷に広がる茶園は、「浜茶」と呼ばれ、佐山浜台には、町内の茶業家が抹茶の原料となるてん茶を生産しています。



巨椋池（おぐらいけ）

▲巨椋池はかつて800haにも及ぶ広大な湖沼であり、洪水が農民を苦しめた反面、良質な漁場でした。昭和16年（1941年）に国営第1号の干拓事業によって農地として生まれ変わり、地元住民のなりわいも漁場から農業に変わりました。集積した農地では、高い収益性農業が展開され、全国的にも貴重な大都市近郊の一大農業地帯を形成しています。



京都飛行場

▲太平洋全域が戦場と化すにしたがって、昭和17年（1942年）、現在の国道1号東側に、航空機乗員の養成を目的とした京都飛行場がほぼ完成しました。主に搭乗員の練習場として、また当時飛行機を製造していた日本国際航空工業の試験飛行場として使用されていましたが、やがて終戦と共にその役目を終え、飛行場も閉鎖、跡地は払い下げられ、一旦は農地として開墾されたものの、昭和41年（1966年）の国道1号線開通を契機に工業用地として転用され、多くの企業が進出し、本町の産業が発展していきました。飛行場の内水を排除する排水路は、現在もまちに残っています。



機械製造



小松菜



食料品製造



淀だいこん

産業情報発信拠点 まちの駅クロスピアくみやま

久御山町の産業のすぐれた「ものづくり」の技術を広く発信するための産業情報発信拠点として、農商工に関係する分野が連携し、また協働することで、町に新しい地域力を創出し、魅力あふれるまちづくりを進める拠点として、**「まちの駅クロスピアくみやま」**があります。

また、同施設が位置する南大内地区において、令和7年にホテルが開業したことにより、南山城地域の北の玄関口（ゲートウェイ）としての役割を担っています。



■所在地／〒613-0024 京都府久世郡久御山町森南大内303
■休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）・年末年始（12月29日から1月3日）

カフェスペース

バスの待ち時間や、休憩の場としてご利用ください。テイクアウトカフェで購入いただいた商品の飲食も可能です。

特産品販売コーナー（くみやまマルシェ）

こだわりの野菜や町内事業所の加工品など、久御山町の特産品をはじめとして、府内道の駅等から取り寄せた京都府内の特産品などを購入することができます。

レンタサイクル

久御山町内の散策にレンタサイクルはいかがでしょうか。電動式やお子様用小型サイズ自転車もご用意しております。

交流室

町内企業を中心に、町外企業・その他団体に貸し出し、会議をはじめ、様々な用途でご利用いただけます。

《使用料》

施設名等 ＼ 使用区分	午前	午後	夜間
	9～12	13～17	18～22
交流室1（20席）	1,200円（300円）	1,600円（400円）	1,600円（400円）
交流室2（20席）	900円（300円）	1,200円（400円）	1,200円（400円）

使用料は基本使用料及び冷暖房使用料とし、（ ）内の額は冷暖房使用料です。冷暖房の使用期間は、6月15日～9月30日、11月20日～3月31日とします。（予告なく変更する場合があります。）久御山町に在住、在勤、在学していない方並びに町内に事業所のない企業（久御山町商工会会員を除く）が使用する場合には、基本使用料に2を乗じて得た額とし、営利目的とした販売行為を行う場合には、基本使用料に6を乗じて得た額とします。冷暖房使用料は別途徴収します。

コワーキングスペース

Wi-Fi、電源、ウォーターサーバーを完備した共用ワークスペースです。







■防音個室ブース
オンライン会議や、集中して作業したい時に最適な個室スペースです。



■ミーティングルーム
少人数での会議や商談など、グループでの利用に適した空間です。

くみやま夢タワー137

まちのランドマークとしてそびえ立つKBS京都ラジオ電波塔は、珍しい単独自立型タワーの電波塔です。高さは京都タワーよりも高い137m。久御山町が夢を持って発展していくよう**「くみやま夢タワー137」**という愛称がつけられました。

令和元年からライトアップを開始しました。カラーチェンジが出来るので様々な色に意味を持たせ、「ものづくり」や「農業」などまちの魅力を発信するツールとして活用しています。

また、さらに町内外にまちの魅力を発信するために使用するツールとして、くみやま夢タワー137のロゴマークを決定しました。ロゴマークは、町のみならず、久御山産農産物のフィルムや町内事業者のホームページなど様々な媒体で使用しています。

KYOTO
KUMIYAMA YUME TOWER 137
くみやま夢タワー137

▲くみやま夢タワー137 ロゴマーク



ライトアップされた
くみやま夢タワー137

ものづくりの肥料（久御山町の産業・農業の振興施策）

展示会等出展支援

中小企業の皆さんが、開発・製作した製品を公的機関等の開催する展示会等に出展する経費の一部を助成し、ものづくりのまち久御山町の産業振興を図っています。

補助率 1/2

補助額 最大40万円（3年間100万円）

《展示会合同出展》

町内企業の販路拡大の支援と全国へのPRのため、日本最大級の異業種交流の展示会であるメッセナゴヤに、久御山町産業売込み隊の事業の一環として平成29年度から出展しています。出展企業相互のつながりができたり、名古屋での顧客開拓のきっかけになっています。



メッセナゴヤ

展示会合同出展に参加された企業の声



展示会出展が大きなチャンスに

株式会社 兵藤製作所
代表取締役
兵藤 高秀 様

コロナの影響が収束し、企業拡大を図っていたところ、商工会をとおして展示会の合同出展の話を聞き、応募を決めました。

単独では出展が難しいなか、大きなチャンスだと思いましたね。名古屋という新しい土地での展示会に格安で出展でき、良い経験が出来ました。

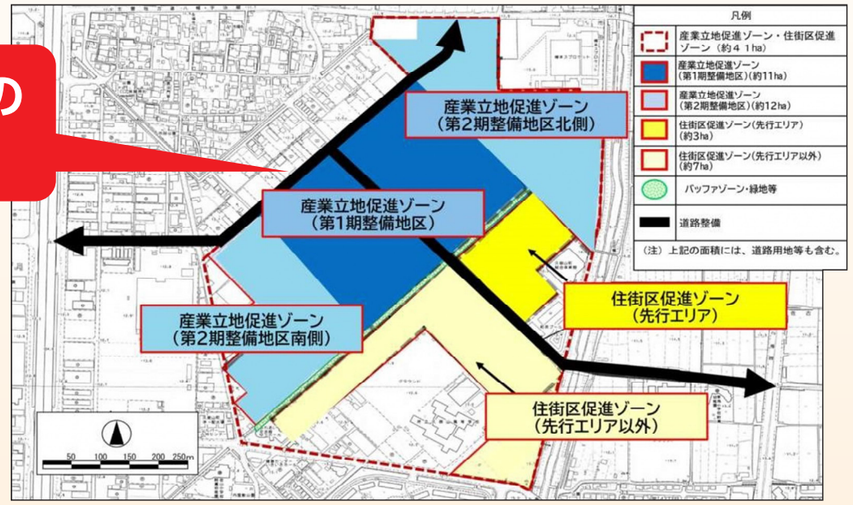
自治体の取組なので堅いイメージもありましたが、他の出展者と一緒に楽しく取り組めました。久御山町や商工会のフォローも手厚く、心強かったです。

新市街地（みなくるタウン）の整備

産業活動の活性化や住宅地の形成を促進するため、久御山高校北側の市田・佐古・林地区に位置する産業立地促進ゾーン及び住街区促進ゾーン約41haを新市街地（みなくるタウン）と名付けて整備を進めています。

産業立地促進ゾーンは、町内企業の経営拡大に伴う産業用地の確保や恵まれた道路交通環境を生かした企業誘致を目的としており、あわせて住街区促進ゾーンは新たな時代のモデルとなる住宅市街地を形成することで職住近接のまちづくりの実現を目指しています。

約41haの開発整備





みなくるタウン以外が対象

工業用地をお探しの方へ

町内企業の増設や移転、町外企業の誘致等に対応するため、事業用地や空き工場等の不動産情報を提供しています。「京都府宅地建物取引業協会」と「全日本不動産協会京都府本部」の協力を得て、ニーズに合った複数の情報を一括収集してご提供します。

※この事業は、町が特定の物件を推奨することや取引の仲介をおこなうものではありません。売買、貸借等の交渉については、情報提供者（不動産業者）と企業等間で行います。



ものづくりの肥料（久御山町の産業・農業の振興施策）

ビジネスプランコンテスト補助金

町内で新規創業または第二創業を行う事業者（創業者）を応援しています。

新規創業または第二創業を志す人を対象にビジネスプランを競うコンテストを開催、それぞれのビジネスプランをプレゼンテーションし、審査結果から最大100万円の補助対象者を決定しています。

補助率 1/2

補助額 最大100万円





ビジネスプランコンテストに参加された人の声

焼き菓子Baco
小林 亜記奈 様

「念願の焼き菓子工房をオープン!」

地元食材をアピール・発信することで、より久御山町を盛り上げ、地域に愛される「ほっと温まる焼き菓子屋さん」を作りたいと思い、お店を立ち上げました。

自宅併設の焼き菓子工房ですが、役場にお店の意義を認めていただき、資金の一部を援助いただけて本当に嬉しく思っています。

コンテストへの出場をきっかけに、町の様々なイベントにも声がかかるようになりました。これからも地域に愛されるお店として頑張っていきたいです。



「久御山町で通年生産している小松菜を使い、何か特産品をつくれないか?」との声からスタートした小松菜入りドーナツの「くみやまベジまる」。

「野菜が苦手な子どもも美味しく食べることができ、大人もしっかりと小松菜を感じて満足できるように」と工夫されています。中の鮮やかな緑色は必見!!

特産品開発等支援事業

次世代の特産品にチャレンジする人や企業を応援しています。地産地消と第６次産業の推進、地域経済と町内農業の活性化を目指しています。

補助率 1/2

補助額 最大50万円



特産品開発等支援事業を利用された人の声

株式会社TURU
森田 浩貴 様

「農家と共同で新商品を開発」

久御山町で小松菜を生産されている坊政・岡井農園からご提案があり、小松菜を使ったドーナツを開発しました。何度も試作を繰り返して、思った味に近づけることができました。

「くみやまベジまる」は、一口サイズの丸っこい形状が特徴。栄養満点で子どもでも食べやすくしています。

販売開始の時には地域の方やメディアがたくさん注目してくれました。これからも他の食材で特産品の開発を目指していきます!!

黄金の茶室

こんなに面白い開発も!!

「ものづくりのまち」久御山の企業が連携して製作した「黄金の茶室」。デザイン・設計に東京大学川添研究室を迎え、茶室の壁にはアルミ押出材を、内壁には約400年前の緊迫の風合いをスクリーン印刷で再現するなど、町内の企業10社の技術力を結集して平成29年に完成しました。

大きな3枚の板で構成された大胆なデザインの茶室は、「自然と人工」、「光と闇」、「伝統と現代技術」など、相反する二つのものが共存する意外さや緊張感を表しています。

黄金の茶室は令和7年に開催された「大阪・関西万博」にも出展。

銅板をヘラ絞りで「つくばい」に仕立て、水が漏れない新素材高級折紙で「花入れ」を製作するなど、その技術に多くの来場者が注目しました。

黄金の茶室の内部では実際にお茶を点て、多くの人に振舞いました。







ACCESS
交通案内

〔久御山町役場へのアクセス〕

公共交通利用の場合

京都から

京都駅 →（近鉄京都線 急行17分）→ 大久保駅 →（京都京阪バス 11分）→ 久御山町役場前 →（徒歩1分）→ 久御山町役場

三条駅 →（京阪特急 特急14分）→ 中書島駅 →（京阪本線 普通4分）→ 淀駅 →（京都京阪バス 11分）→ 久御山町役場前 →（徒歩1分）→ 久御山町役場

大阪から

淀屋橋駅 →（京阪本線 特急23分）→ 枚方市駅 →（京阪本線 普通18分）→ 淀駅 →（京都京阪バス 11分）→ 久御山町役場前 →（徒歩1分）→ 久御山町役場

車の場合

関西国際空港から

関西国際空港 →（阪和・近畿自動車道等55分）→ 門真JCT →（第二京阪道路20分）→ 久御山南I.C. →（府道宇治・淀線 淀方面へ5分）→ 久御山町役場

中部国際空港から

中部国際空港 →（新名神・名神高速道路等95分）→ 瀬田東JCT →（京滋バイパス 20分）→ 久御山淀I.C. →（府道宇治・淀線 宇治方面へ5分）→ 久御山町役場

問合せ
久御山町事業環境部産業・環境政策課
Tel：075-631-9964、0774-45-3914
Fax：075-631-6149
URL：http://www.town.kumiyama.lg.jp
Mail：sangyo@town.kumiyama.lg.jp

発行　令和8年10月